

## 消防防災ヘリコプターについて

平成20年12月15日、三井物産エアロスペース株式会社から、消防防災ヘリコプターの納期遅延の事情等について、次のとおり説明があったので報告する。

1 岡山県及び県民の皆様にご迷惑をおかけすることにつき、深くお詫び申し上げます。

### 2 これまでの経緯

- 平成20年5月19日の入札に際し、需給逼迫による生産状況から平成21年3月末納入は厳しいと認識しており、県にもその旨伝えたが、ベル社及び米国・日本の改修業者との交渉、あるいはマーケットや他のベル社の顧客との機体融通などによって、納期短縮できることもあり得ると考えた。
- また、岡山県との入札前のやり取りを通じ、万一不測の事態が発生した場合には、予算上及び会計規則上は繰越措置が適用されるとの話もあり、他県での実例も踏まえ、当社自身の判断で平成21年3月末納期の入札に参加した。
- 入札時には、平成20年12月中に米国での改修作業を終え、国内再組立等に3ヶ月、平成21年3月31日納入というスケジュールで考えており、当社としては、契約遵守に向け誠実に最大限の努力を行ってきた。
- 平成20年9月19日に岡山県に対し、生産環境の厳しさにより、納入期限までに納入することは厳しい状況にあることを説明したところ、岡山県からは契約を遵守するよう指導があり、引き続き最大限の努力を行ってきた。
- その後も、当社の米国法人駐在員並びに当社の室長をベル社や米国改修業者であるエドワーズ社に派遣し交渉した結果、エドワーズ社の作業工程を1ヶ月短縮できたが、平成20年11月20日に、県に対し、平成21年3月末納期が困難であることがほぼ確定的となった旨を報告した。
- ヘリの需給動向については、米国に本社を構える航空エンジン・電子機器の多国籍企業であるハネウェル社が公表している民間市場タービン・ヘリコプター需要予測によれば、別紙1のとおり。

### 3 現在の生産状況

- ベル社カナダ工場で基本機体が完成し、先般、自力飛行して米国に移送され、現在、エドワーズ社にて消防防災用の装備品等の装着作業に入ったところである。今後、米国での作業が終わり次第日本に航送し、国内での各種装備品等の装着作業を経て納入することとしている。
- 現在の機体の写真は別紙2のとおりであり、現時点で見込まれる工程は別紙3のとおりである。

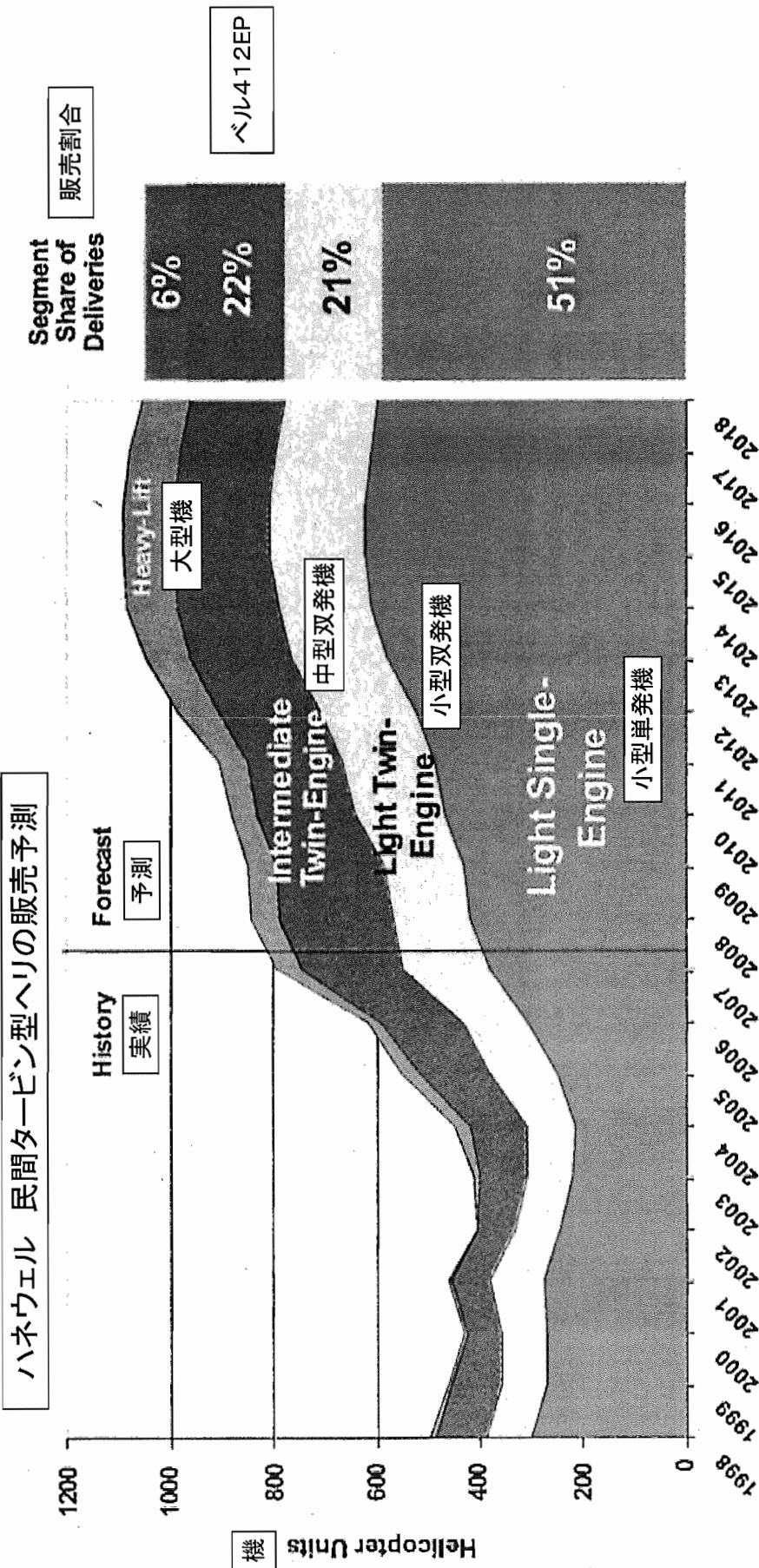
### 4 ヘリテレ搭載工事

- 岡山県と当社が契約した消防防災ヘリコプターの納期は、平成21年7月末となる見通しだが、当該契約にはヘリテレ搭載工事は含まれない。ヘリテレ搭載工事については、当社が同時に実施した場合には通常1か月、ヘリテレ事業者が別途実施した場合には通常2か月を要する。
- 当社がヘリテレ搭載工事を同時に実施する場合には、契約などに係る然るべき手続きをお願いしたい。また、必要機材の手配の関係上、来年1月上旬頃までに連絡願いたい。
- 当社がヘリテレ搭載工事を実施する場合は、当該工事の追加に要する期間については遅延対象外として頂きたい。

### 5 当社の今後の対応

- ヘリコプターの需給の逼迫状況とベル社カナダ工場の出荷スケジュールに関わる当社の見通しの甘さにより、期限内納入が叶わず、ご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。
- 納期を一日でも短縮すべく、先週も米国法人駐在員並びに当社の幹部をエドワーズ社へ派遣し更なる工期短縮を依頼している。
- 国内の再組立・改修会社に対しても工期短縮の交渉を継続中である。
- 今後も当社の米国法人を中心としつつ、当社幹部も定期的にエドワーズ社へ派遣し工期短縮に努め、また国内の再組立・改修会社に対しても工期短縮の交渉を引き続き行う所存である。
- 岡山県に対しては作業進捗状況を随時報告し、1日でも早く岡山県へ消防防災ヘリコプターを納入できるよう尽力することを約束する。
- 遅延料その他契約関係については、県の意向に従う。

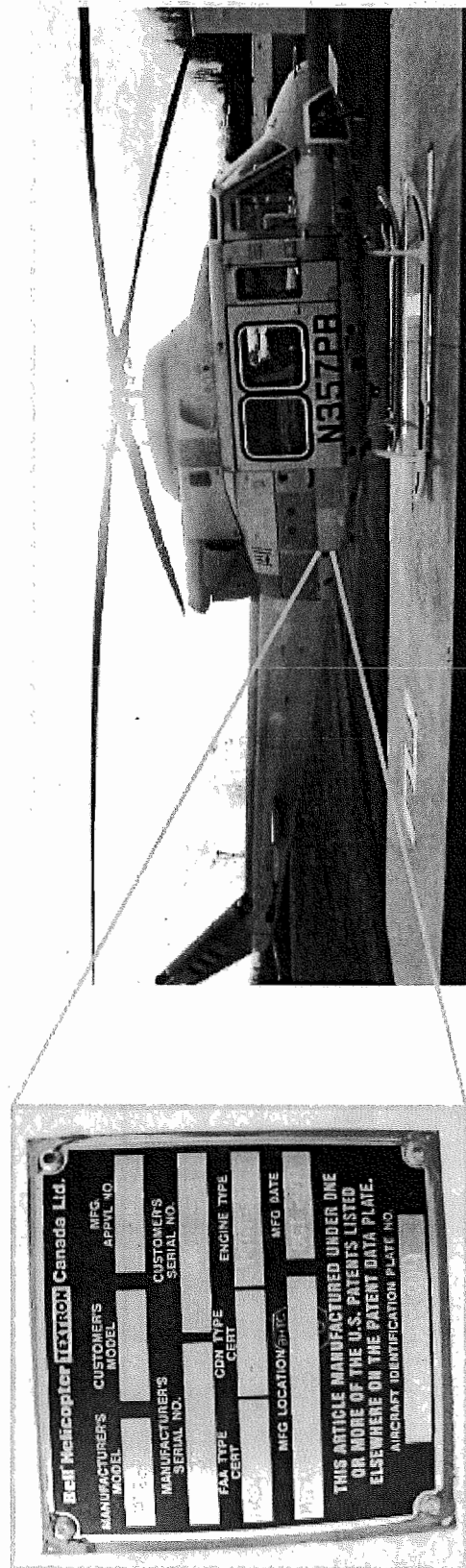
# Honeywell Delivery Outlook for Civil Turbine Powered Helicopters



**Over 10,000 New Turbine Powered Helicopter Deliveries Projected from 2008-2018**

1万機以上の新しいタービン型ヘリの販売が  
2008年から2018年にかけて計画されている

岡山県殿向け消防防災ヘリコプター：ベル式412EP型  
＜2008年12月13日 ベル・カナダ社より米国内改修業者：エドワーズ社へ到着＞



ヘリコプター (412EP S/N 36503)

平成20年12月15日

岡山県殿向け消防防災ヘリコプター ベル式412EP型の工程表(予定)

	～H20年12月12日	H20年12月13日～H21年4月
	ベル社(カナダ、ケベック州ミラベル)	エドワーズ社(米国、テネシー州 パインニー・フラッツ)
機体製造及び改造 (ベル社・米国機体改修業者)	スライド式ドア、カーゴフック装置、降着装置、正副操縦士用座席、客室座席、搭乗者最大座席(搭乗者標準座席)、正副操縦装置、正副操縦士用計器、自動操縦装置、航空管制用自動応答装置、電波高度計、超短波全方位指示器(VOR)、自動方向探知機(ADF)、距離測定装置(機上DME装置)、予備姿勢指示装置、航空管制用VHF無線電話、衝突防止灯、左舷灯、右舷灯、尾灯、着陸灯、客室照明灯、操縦室照明灯、非常用照明灯、ローターブレーキ、エンジン洗浄装置、ハイドロコネクター、ハンドリングホイール(運搬用車輪)、ローター・タイダウン、ドアー・キー、エンジン・カバー、ピトー管カバー	救助用ホイスト、リベリング装置、写真撮影窓、外視鏡、航空機用救命無線機、機内乗組員通話装置(ICS)、機内拡声装置、電子式録音再生装置、機外拡声装置(広報用、連絡用も兼ねる)、白色閃光灯、投光装置、空調装置(エアコン)、乗降用ステップ、ヘッドセット、ヘッドセットハンガー、遮光カーテン、ハンドグリップ、点滴ビン吊下げ装置、消火タンク装置、スキッド又は車輪沈み込み防止装置、可視カメラ装置(赤外線カメラ装置一体型)、塗装作業(3色)

	平成21年5月	6月	7月
	国内		
輸出耐空証明取得	★		
分解/梱包/空輸/通関	★		
機体再組立/改修(国内業者)		航空管制用応答高度計、GPS地図情報装置、消防防災無線装置、機内電源取出口、航空機用ヘルメット、メインストレッチャー、酸素ボンベ等固定装置、患者監視装置取付け装置、角度調整可能スポットライト、救急用担架固定装置、消火バケツ、座席カバー、フロアマット、救命胴衣、搭載用法定備品、塗装作業(登録記号や愛称など)	
耐空証明/無線免許取得			★
完成納入検査(国内業者にて)			★
空輸(納入場所へ)			★

<注記>

- ①本工程は、機体改修工事の進捗状況や天候不順により多少変更が生じる事がございます。
- ②米国内と本邦内での作業内容は各業者との打合せにより変更する事がございます。

## 消防防災ヘリコプターに関する協議経過

(平成20年)

- 9月3日、三井物産エアロスペース株式会社幹部が表敬訪問のため来岡し、部長、危機管理監ほかが対応した。
- 9月19日、同社担当者が来岡し、危機管理監ほかと仕様についての調整、確認等の打合せを行った際、生産環境の厳しさにより、納入期限までに納入することは厳しい状況にあるとの話があったが、消防防災ヘリコプターに対する県民の期待等、本県の事情を説明し、また、契約後間もない時期であり契約を遵守するよう申し入れた。先方も努力するとのことであった。
- 10月10日、部長、危機管理監ほかが上京の際、同社に立ち寄り、期限内納入を要請した。
- 11月20日、同社幹部が来岡し、部長、危機管理監ほかが対応した。平成21年3月末納期が困難であることがほぼ確定的となり、ヘリの納入が7月末になる見込みであり、これにヘリコプターテレビ電送システム取付期間を含めると8月末になる見込みであるとの説明があったが、同社に対し、納期遅延の事情等の説明を求めた。
- 12月2日、部長、危機管理監が上京し、同社幹部に会い、納期遅延の事情等の早急な説明とヘリの早期導入についての更なる努力を求めた。
- 12月12日、部長、危機管理監ほかが上京し、同社幹部に会い、納期遅延の事情等の早急な説明とヘリの早期導入についての更なる努力を再度求めた。
- 12月15日、同社幹部が来岡し、部長、危機管理監ほかが納期遅延の事情等の説明を受けた。